

お客様のニーズに応え可能性のお手伝いをします！

(提案公募型技術開発事業)

株式会社コスモスウェブ

事業概要

当社は、平成元年に株式会社コスモスとして設立。平成 13 年に現在のコスモスウェブに商号変更しています。受託開発を事業の柱とし、電気電子回路設計、ソフトウェア設計、制御システム開発、プリント基板、電子部品販売を担い、平成 19 年には卓上ロボットの受託生産を本格的に開始しました。山形・福島・宇都宮営業所の開設や山形の電子部品メーカーを経営統合するなど事業拡大を図ってきています。

取引先は、県内外の大手電気メーカー、半導体装置メーカー、空調機メーカーなど多岐にわたっています。常にお客様のニーズに応える技術力と確かなものづくりで、宮城県の経営革新計画の認定や当機構の[みやぎ中小企業チャレンジ応援基金事業](#) (旧 宮城・仙台富県チャレンジ応援基金) をはじめ、[宮城県中小企業等外国出願支援事業](#) や [産学官金連携フェア 2019 みやぎ](#) などの展示会を活用し、自社製品の PR を行うなど積極的に事業を推進しています。

平成 30 年度には、医療分野にもチャレンジしており、「呼吸情報に基づいたマルチバイタルサイン計測技術の研究開発」(図 1 参照)を進めるべく、当機構の[提案公募型技術開発事業](#)を活用し、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業(通称「サポイン事業」)に採択されました。

サポイン事業には広島市立大学、名古屋大学との産学連携で取組んでおり、MEMS(微小電気機械システム)技術によるマルチ物理量センサ集積化技術とバイタルサイン信号処理技術とを融合することで、呼吸という流体から、呼吸数、心拍数、心拍出力、さらに体温の情報を読取る計測・解析手法の確立を目指しています。

企業の声

災害現場では、医療従事者や医薬品等が不足がちになるなか、医師を中心とする医療従事者は傷病者の生命を左右する緊急性の高い処置を行うこととなります。その結果、医療従事者は、傷病者を治療しながら同時に多数の傷病者の病状変化に対応することが求められます。

事業化に向け、確実にサポイン事業を推し進め、本製品が AED のように各施設や病院等に設置される等広く普及し、傷病者が多数発生する事象が起きた際に、一人でも多くの傷病者を救済することを目標としています。

企業概要

代表者：代表取締役社長 吉村 直幸

住所：仙台市青葉区栗生 5 丁目 4-1

電話：022-302-8520

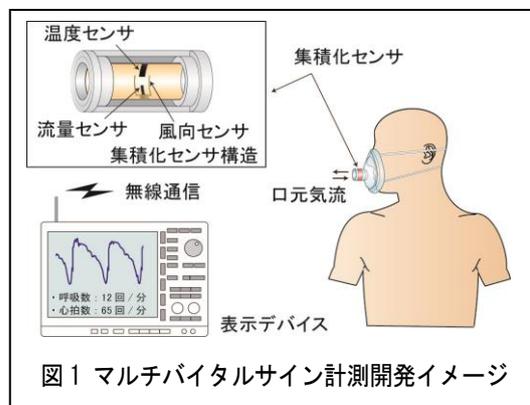
E-mail：cosmosweb.inquiry@cosmosweb.com

URL：<http://www.cosmosweb.com/>

従業員：78名

業種：製造業

主要事業：電気電子回路設計、受託開発製造ほか



本社社屋(青葉区栗生)

[提案公募型技術開発事業](#)は、国等の提案公募型技術開発資金活用に向けたテーマ発掘や研究体制の構築などをはじめとして、申請に係る支援から、新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、総合的なコーディネート支援を行う事業です。